

富士見市立本郷中学校だより

学校教育目標



よく考え、学び、求める生徒
 豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
 心身を鍛え、勤労と体験を重んじる生徒

「夢と感動と思いやりがあふれ、誰もが成長を実感できる学校」 第5号

いんすいしげん

飲水思源

校長 上堀 護



学校司書さん・図書室ボランティアさん合作の図書室前の掲示物

早いもので、^{きんもくせい}金木犀の花の香りが漂う季節となりました。ついこの間までの真夏の猛暑がうそのようです。一方で大きな台風の接近が報じられています。どなた様もどうぞご注意くださいようお願いいたします。

新型コロナウイルス感染症は新たな変異株が次々現れ、緊急事態宣言期間が延長となりました。このウイルスとの闘いは数年単位ではなく、100年前のインフルエンザのようにならずと続くものになると思われま。学校の授業や学習方法もそれに即応したものになるでしょう。本市でも全小中学校で児童生徒用端末が貸与され、いよいよオンライン授業が始まりました。

「便利になると卑怯者が生まれる」は、私の勝手な持論です。小学低学年の頃、いたずら電話（当時の黒電話）をかけ、親にこっぴどく叱られたことがありました。名も告げず顔も見られない方法で相手を攻撃できる便利なツールが普及すればするほど、それを悪用することが可能になります。昨今のSNSを利用した誹謗中傷やいじめ、お年寄りを狙った特殊詐欺などは典型的な例でしょう。しかし考えてみれば、人類が起こした戦争も同じ道を歩んでいることが分かります。騎士や武士が相対して一騎打ちや決闘をしていた時代から火薬を用いた戦いへ、そして顔も見えない相手に飛行機から爆弾を落とす方法に進化し、今やボタン一つで大規模破壊・大量殺戮ができるようになりました。

このような技術は、何のために作られたのでしょうか。科学の目的とは何でしょうか。

「宗教なき科学は不完全であり、科学なき宗教は盲目である」とはA. アインシュタイン博士の名言ですが、宗教も科学も目指すところは「幸せ」にあるのだと思います。現在の私たちが便利な生活を送れるようになったのも、先人達から連綿と続く血と汗と涙の結晶です。それを忘れ「便利だから」と間違った使い方をする後輩たる一部の人々の、なんと悲しく愚かしいことでしょう。

「飲水思源」とは中国の^{ことわざ}諺で「井戸の水を飲むときは、井戸を掘った人の苦勞を思え」という意味だそうです。スマホの画面をタッチするだけで思い通りの情報が得られる、世界中どこにいても自分の位置が分かる、スイッチを入れれば電気が通る、蛇口をひねれば水が出る……。その仕組みも歴史も知らず考えず、利益だけを享受している私たちは、もう一度「井戸を掘った人」のことに思いを馳せるべきではないでしょうか。

初任者や教育実習生には「勉強する意味とは何か」を毎回尋ねていますが、私たち学校職員も保護者の皆様も、学力とは何か、その目的は何かという問いをともに忘れずに、次代を担う子どもに接していきたいものです。